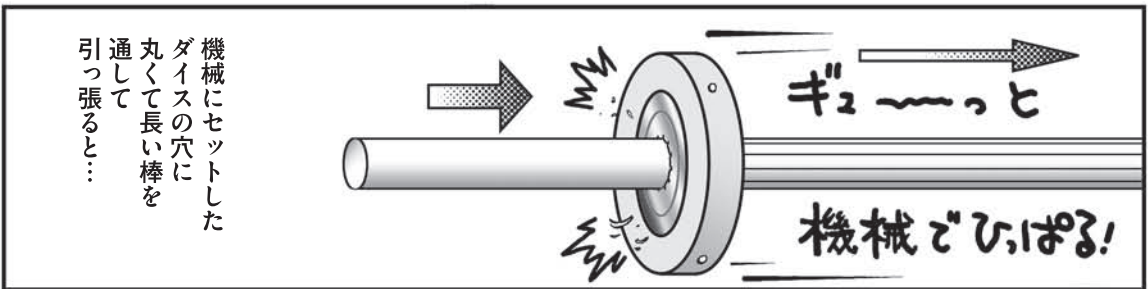


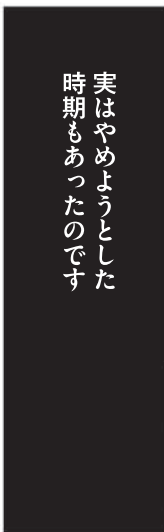
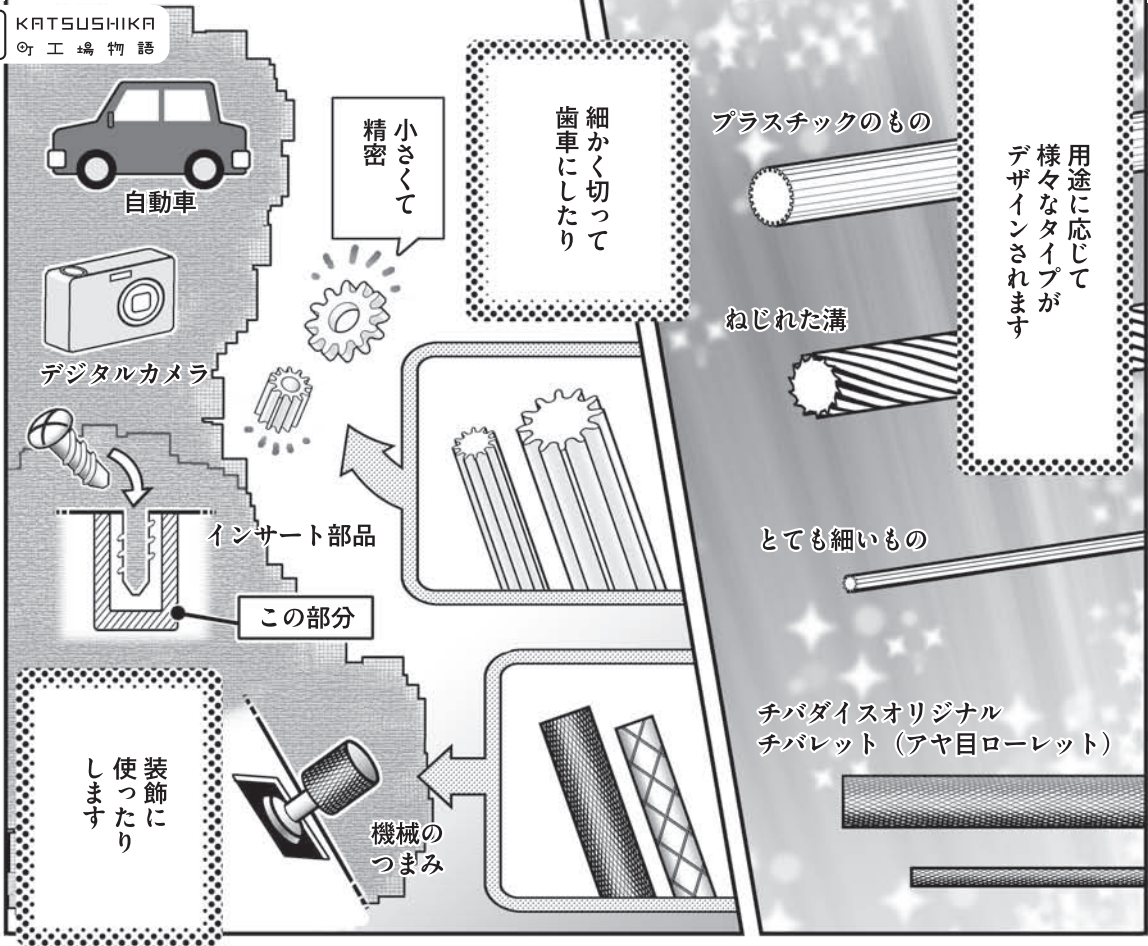
葛飾ブランド「葛飾町工場物語」

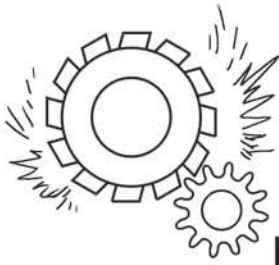
既存技術の 潜在ニーズを発掘！ ～CD加工機・CD加工品～ 株式会社 チバダイス



作・狐塚 あやめ







ホブカッター加工

初めから
使うサイズに
した材料を削る

歯車は
ホブカッターという
機械で切削するのが
一般的になってきており

少数派であった
CD加工は
忘れられてゆく
ばかりだったのです



加工機を作っている
会社はもう
うちだけだし

だんだん
やっている
ところも
減っているし

受注も少ないし
やめてしまおうか…

先代の父は
そう言っ
ていまし
たが…

CDはCDで
いいところ
があるだろ
うし

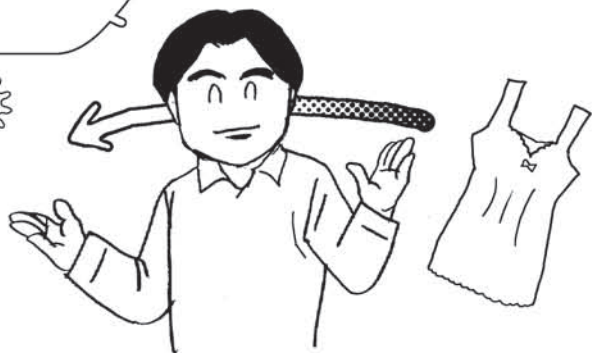
いつかまた受注が
増えることも
あるかもしれ
ない

平成5年
チバダイスに入社し
平成11年に
社長就任しますが
それまでは
大手下着メーカーの
人事担当でした

他業種だったので
業界の人とは
少し物の見方が
違っていたかも
しれません

自分なりに
得意な部分を
伸ばして
経営していこう

新しい取り組みに
チャレンジしました





同様の施設は
ジュネーブに
1カ所あるだけ！

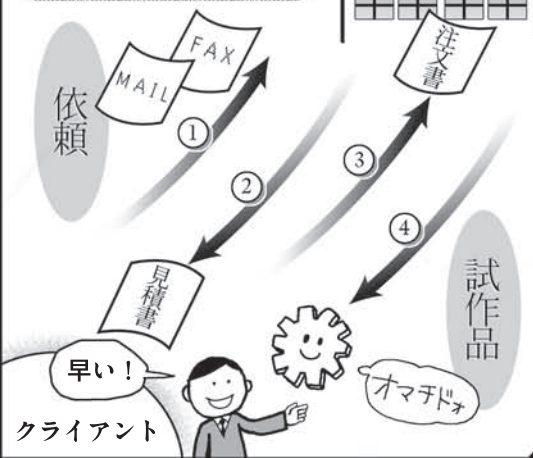
世界中から
委託研究を
受け付けています

Plastic
Gear
System



青山学院大学を退官された
武士俣貞助氏を招聘し
PGS研究所を設立

最短3日で試作品を
お届けするシステム
「スピードトライ」



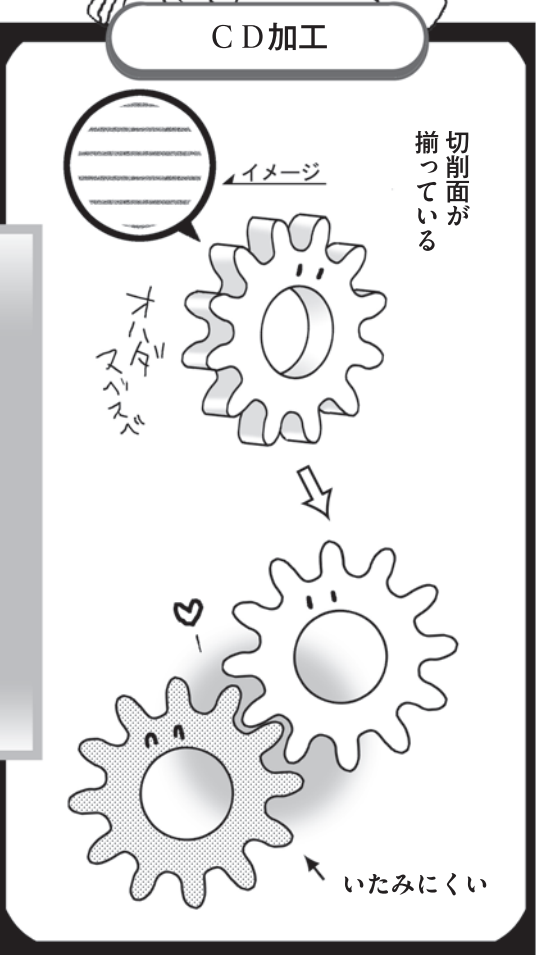
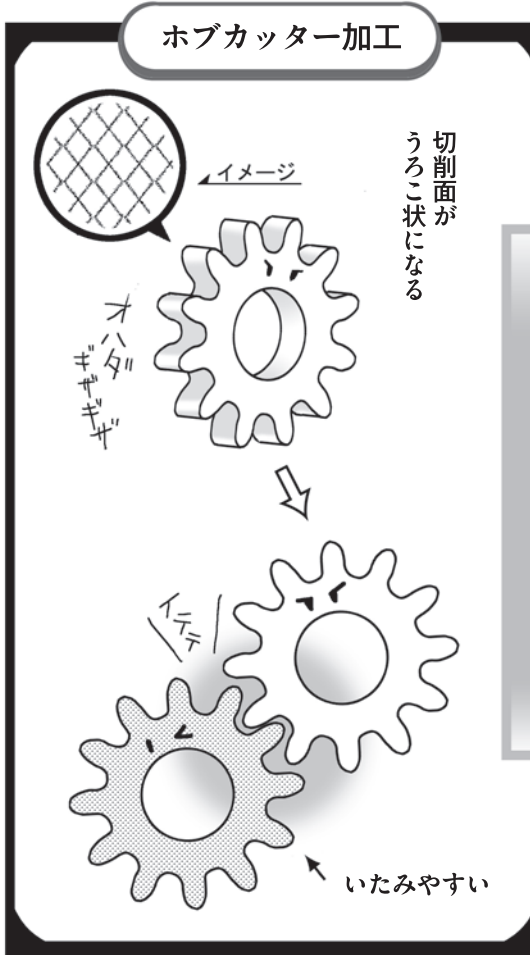
取引の高速化に対応する
システムを構築





CD加工のメリット

相手の歯車を削りにくいという特徴があり
分野によってはこちらのほうが適しています



ほかにも…

- ・低コスト
- ・量産向き etc…





こうした
積極的な経営革新の
取り組みが評価され
平成19年
第5回「勇気ある経営大賞」
堂々の大賞を受賞!

古い技術の利点を見直し
新しい取り組みも大胆に!
ニーズの再開発の実現が
現在の成功の要因となりました



複数の生産技術を有しトータルで
提案できるといふ点で
我が社は日本唯一の
あるいは世界唯一の
会社かもしれません

昭和41年創業
老舗チバダイスは
これからも
大きく躍進して
いきます!

KATSUSHIKA
町工場物語

認定

株式会社 チバダイス
積極的事業展開で既存技術の潜在ニーズを発掘
CD加工機・CD加工品

認定品名

CD加工機・CD加工品

CD加工とは、引き抜きにより、長い金属棒の表面に線などを入れる加工のこと。時の流れの中でいつの間にか忘れられた技術となっていたが、(株)チバダイスが新たな事業展開を進める中で、CD加工の新たなニーズが発掘された。加工機製造自体今となつては同社しか行つておらず、CD加工品を製造できる工場も限られている。



ローレット棒(表面にギザギザを入れた棒)などのCD製品は、自動車の可動部分や電気機器のツマミ、装飾品などの分野で多用されている

株式会社 チバダイス

所在地:葛飾区高砂1-26-2

電話番号:03-3696-4441

代表:千葉英樹

業種:歯車製造販売

従業者数:40名





総合歯車メーカーとして

「日本唯一あるいは世界唯一の会社かも」

歯車専門メーカーの老舗、(株)チバダイスは、金属歯車やプラスチック歯車、歯車金型、各種特殊歯車などを一貫生産で提供できる総合歯車メーカーとして有名である。各歯車の専門メーカーは他にも存在するが、複数の生産技術を有し、トータルで提案できるという点で「日本唯一あるいは世界唯一の会社かもしれない」と千葉社長は語る。

創業は昭和41年。現社長の祖父が昭和11年に創設した千葉製作所を元とし、現社長の父が創業した。39歳の現社長は、平成11年より父親から代を引き継いだ。

「自分の得意な部分だけ伸ばして経営していこう」と決意

社長は、父親から業を引き継いだ時、「自分の得意な部分だけ伸ばして経営していこう」と決意した。英会話が得意であったため、海外取引に力を注ぐことにした。そして、海外など遠方からの受注にすばやく対応するため、「射出成形品高速試作 SpeedPrint」というシステムを作った。これは、プラスチック射出成形歯車の試作を短期間に行うもので、アジア各国から大きな反響を得た。

また、社内に研究所を設立し、プラスチック歯車の摩擦や摩耗、潤滑などに関する世界各国からの委託研究を受付けることで、ニーズの把

握を行い、営業や技術開発に役立てることにした。委託者やその顧客とのつながりが増え、販路拡大に役立った。同様の施設は、ジュネーブに1か所あるだけなので、世界中から委託が寄せられている。

既存技術であるCD加工への潜在的なニーズを発掘

こうした取り組みの中で、過去10年間で1、2台しかなかったCD加工機の設備の受注やCD加工品の受注が、主に海外企業との取引の中で増えてきた。CDとは、コールドローイングすなわち冷間引き抜き製法を意味するが、「カッティングダイス」「クリエティブデザイン」「チバダイス」などの意味を持たせた、(株)チバダイス独自のネーミングである。

CD加工は古くからある技術で、通常の切削ではなく引き抜き切削で歯車等を加工する方法。「古い技術であるため、もう忘れられてしまっていたようだ」という。(株)チバダイスでも、先代が社長のころ、あまり受注がないので、もうやめてしまおうか」といつていた加工法である。この時、「通常の切削よりも理にかなっている面があるので、いずれまた受注が戻るかもしれない」と現社長の判断でやめないうことが幸いした。

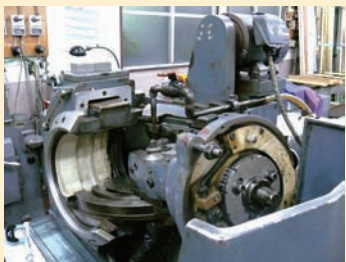
CD加工の利点と技術的難しさ

ギアの歯は、切削加工するのが一般的であり、精度も高い。ただし、切削面が鱗状（ヌメ）に仕上がる

ため、材料によっては相手のギアを削ってしまうという難点があった。一方、CD加工の場合、加工単価が相対的に安く、精度もそこそこ高いだけでなく、切削面が線状となるため、相手を削る心配がないという特徴がある。分野によってはこちらの方が適していることもあり、その存在が見直されてきたということだった。

下着メーカーから転進、変わり種社長の柔軟な発想が生きる

古くからある技術を捨てないでいたことに加え、新しい取り組みの中で古くからの技術の利点と新たなニーズを再発掘できたことが現在の成功の要因となっている。こうした積極的な経営の取り組みが評価され、東京商工会議所「第5回勇氣ある経営大賞」を今年度受賞した。若き社長は、大手下着メーカーの人事担当職を投げ打って、父親から業を引き継いだ。ものづくりのことなどほとんどわからない状態から出発した変わり種であるといえる。第三者の視点と柔軟な発想が、老舗チバダイスを新たな企業へと再生させる大きな原動力となっている。



通常の切削加工で使用されるホブカッター。工場内にはこのほか様々な機械が設置されている